

マカフィー株式会社
2020年9月15日

マカフィー、セキュリティインシデント対応の体制構築を支援する 「インシデントレスポンス演習」サービスを提供開始

マカフィー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 辰夫）は、本日、セキュリティインシデント対応の体制構築を支援する「インシデントレスポンス演習」の提供を開始しました。これによりお客様はインシデント対応フローの課題点がより明確となり、インシデント対応能力の向上を図ることが可能になります。

攻撃手法の多様化・高度化に伴い、企業が攻撃を完全に防ぐことが難しくなる中、インシデント対応能力の向上が多くの組織で喫緊の課題となっています。それに伴い、マカフィーでは、具体的にどのような体制を構築すべきかのご相談を受ける機会が増加しています。

本サービスは、情報セキュリティに関する総合的なコンサルティングサービスを提供するプロフェッショナルサービス部門の弊社コンサルタントが、演習の計画から準備、実施および振り返りまでを支援します。演習の目的や対象者、組織の成熟度（例：セキュリティ専担部署の有無）、対象者間の知識や経験の差に応じたオーダーメイドの演習のほか、これまでの実績を基に構成した定型演習のご提供も可能です。

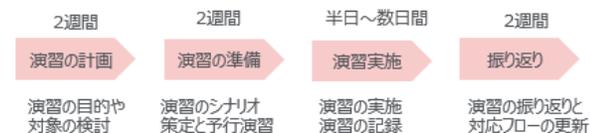
現場担当者向けの演習では、インシデントの発生を想定した技術的なトレーニングを実施します。また、現場責任者や経営層向けには、インシデント対応における意思決定やクライシスコミュニケーションに関する演習を通して、組織が一体となってインシデント対応に取り組む体制の整備を支援します。演習を通じてインシデント対応フローの課題点が明らかになった場合には、演習の結果や参加者からのフィードバックを加味してインシデント対応フローの更新を支援するなどの、最適化を図るプロセスの支援までもカバーできるサービス設計になっています。

サービス概要：

- 【サービス名称】 インシデントレスポンス演習
- 【 価 格 】 400万円～
- 【 期 間 】 約6週間（計画から振り返りまでの全工程を含めた期間）
- 【問い合わせ先】 MBJP-PS_External@McAfee.com

支援内容

演習の計画から準備、演習実施と振り返りまでを支援します。



演習の対象

演習対象（参加者）に応じて演習の内容を柔軟に調整できます。

例)			
			
担当者（技術者）	現場責任者	経営層	
現場でインシデント対応にあたるセキュリティ部門やIT部門の担当者向けに技術的な演習にフォーカス	インシデント対応を指揮する現場責任者向けにコマンダーとしての成熟度向上	重要な意思決定やプレス対応が必要となる経営層向けにクライシスコミュニケーション等の実習	

マカフィーについて

マカフィーはデバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を越えて共に力を合わせることで実現するより安全な世界を目指し、マカフィーは企業、そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。詳細は <https://www.mcafee.com/ja-jp/> をご覧ください。

* McAfee、マカフィー、McAfee のロゴは、米国およびその他の国における米国法人 McAfee, LLC またはその関連会社の商標又は登録商標です。

<本情報のお問い合わせ>

マカフィー株式会社 (<https://www.mcafee.com/ja-jp/>)

広報担当 戸田

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 階

Tel: 070-2680-0731 Fax: 03-5428-1480

hiromi_toda@mcafee.com

マカフィー広報担当

ウィタンアソシエイツ

担当：中根／桑村

mcafee-pr@witan.co.jp